

# 沖縄に米軍新基地造るな

# 民意は 辺野古 不承認

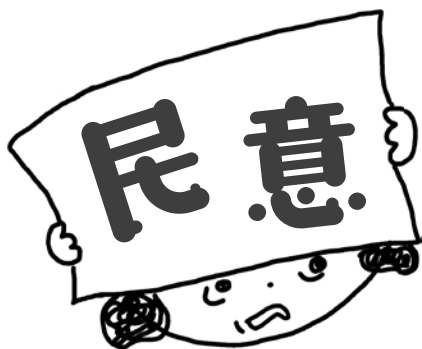
沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に向け、岸田政権がさらなる強硬手段に出ています。

## 地方自治体の権利奪う「代執行」は中止を

沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設計画の埋め立て工事について、防衛省の「設計変更申請」を「不承認」とした玉城デニー沖縄県知事に対し、斉藤鉄夫国土交通大臣は10月5日、沖縄県知事に代わって政府が承認する「代執行」のための訴訟を福岡高裁那覇支部に起こしました。

「代執行」は、本来地方自治体を持つ公有水面埋め立て承認の権限を国が奪うものです。国が地方自治体の権利を侵害する重大な問題です。

そもそもこの訴訟は、辺野古の埋め立てをめぐり、国の機関である沖縄防衛局が私人の権利侵害にすり替えて行政不服審査法を悪用し、沖縄県知事の設計変更「不承認」を国土交通大臣に取り消させたことが発端です。国の「代執行」訴訟は、行政不服審査法の主旨にも地方自治の本旨にも反するものです。公正な判決を求める声を上げましょう。

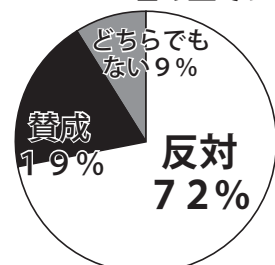


## もたらされるのは 環境破壊と2兆円の浪費

予定地に広がる水深90㍍の軟弱地盤を改良する技術はなく、大量の埋め立て土砂や作業船確保の見通しも立っていません。できる見通しのない基地建設工事が残すものは、巨大な環境破壊と、2兆円超もの浪費です。

新基地建設について沖縄県民は、総投票数の7割超が反対に投じた県民投票（2019年2月24日）をはじめ、いくつもの選挙や集会で、明確な反対の意思を表明してきました。国は民意を尊重し、計画をただちに中止すべきです。

新基地建設のための埋め立てに



(19/2/24 沖縄県民投票)

「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名にご協力を！

日本平和委員会

2023年11月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

